

## 西脇市保育士等キャリアアップ研修（保護者支援・子育て支援分野）

### 受講者感想（2023.1.21） 抜粋

○アイスブレイク、携帯を使つての資料やワーク、ビンゴシート等、とても具体的で分かりやすい研修でした。社会や考え方が変わり色々な支援はありますが、朝から夜まで園で過ごしている子どもを見ると、ニーズに応え過ぎているのが良いのかと考えてしまいます。しかし虐待などのケースも多くあるので、今できる支援を活用し子どもを守り、安心して過ごせる居場所作りに努めたいと思いました。

○自分の住む地域に、子どもが安心して居られるような場所作りが必要だと改めて感じられた。私達保育者が保護者にかかわり、子どもの心の拠り所になるようにしたい。

○私は、住んでいる地域と働いている地域が違いますが、様々な地域で孤立に悩んでいる子どもがいたり、それを支援しようとしたりする人も沢山いることが分かりました。私が働いている地域の関係機関も、調べていけたらなと思った。

○地域資源のことがよく分かった。人とのつながりが薄くなっている今、地域の方とも繋がれる良い資源だと感じた。園と地域が連携して、何ができるか考えると難しいが、地域の方の誘いでジャガイモやサツマイモ掘りをさせてもらっていることが、交流の場であり地域資源のまず一歩なのかなと思う。

○関係機関との連携も理解を深めておくことで、保護者にスムーズに紹介や提案ができると思った。今は園と保護者だけのやり取りで終わってしまい、根本の解決に繋がっていないことがあるので、もっと地域資源について知る必要性を感じた。

○関係機関と連携するためのビンゴシートを作成することで、機関の名称は知っていても、機関の役割やサービスについて知らなかった。「ほっとかへんネット」で自分の園も関わっていることに気付けたのが良かった。保護者の抱える生活課題に繋ぐため、地域資源や社会資源を把握することの大切さが分かった。

○知らない社会資源が多くとても勉強になった。特に子ども食堂に興味があり、保育の仕事をしつつ将来的に関わっていきたいと思った。また、子どもが遊べたり集まったりする公園が少なく、孤立してしまいがちだと思った。

○子ども達の心の拠り所、居場所の大切さを改めて感じた。小学校高学年や中学校になると大丈夫だろうと思ってしまいがちだが、やはり一人で夕飯は寂しいと思う。地域資源であるものを利用し、より良く過ごせるようにしていく事の必要性を感じた。療育や発達相談、ミライエ等普段から関わりがあるが、知らない機関もあり色々な支援があることを知ることで、保護者に伝えられることが増えると思うので勉強したい。

○地域資源はその地域にあるものを上手に活用することで、地域の人にしかできないこと、専門職にしかできないことを上手に連携させることが大切だと分かった。丸目先生の手元資料の無い「見る」「聞く」研修は分かり易かった。（後日資料配布）

○時代の変化に伴い孤食が増え問題視され、一緒にご飯を作ったり食べたりお風呂に入るなど、(子ども食堂等)、家族でできないことは地域でサポートしようという考え方に変わってきていることが学べた。

○今回の研修は、個々に知っていることを伝えたり、教えてもらったりして、職員間での話し合いができて良かった。地域とのつながりを大切に、機関の名称や役割をもっと勉強して保護者へサポートや支援制度も理解し、アウトリーチしていきたいと思った。

○動画を視聴したことで、具体的な地域資源の活用方法や関係機関との連携が分かった。また、ワークをしたことで、自分の知らない市内の関係機関について気付きや学びがあり、保護者

が必要としている機関を把握する事の大切さが分かった。

○園に通う子どもは、祖父母が近くに住んでいたり同居したりする子が多いが、一人親家庭もいるので孤立しないよう、園が相談や話をしやすい場所にしていくことが大切だと思った。

○グループワークが多く楽しい研修だった。自分の園の環境やニーズなど難しいことも、話し合いながら考えを深める良い機会になった。西脇市に「ほっとかへんネット」と言うものがあることが分かり、調べてみようと思った。

○アウトリーチとは、援助者自らが支援の手を差し伸べる事であり、また不可欠であるため、保護者から「おせっかい」と言われようとこちらから声をかけていきたいと思った。

○地域ということで、身近に感じることができ、今置かれている園の状況や子ども達の現状をイメージすることができた。情報や自分の知識のなさに驚いたが、職員で話し合いながらゲーム感覚で楽しめた。

○園がある地域について改めて考える良い機会になった。自然が多く高齢者も多く、子どもにとっては遊び場が少ない地域なので、子ども達が地元で安心して遊べる場が必要と感じた。また、地域の子どもの同士の繋がりは強いので、大事に守っていきたい。

○アイスブレイクで始まり、リラックスした状態で研修を受けることができた。自分が子育て中の大変な時に、支援を受けられる機関を知っていれば助かったのではと感じ、沢山の支援機関を知らないことは残念なので、自分から調べようと思った。

○子育て支援と言われても、どうやって支援したらよいか分からず戸惑っていたが、今回の研修で詳しく教えていただき、子育て支援が良く分かった。保護者から相談を受けた時、子どもに支援が必要だと感じた時、関係機関と連携しながら、地域の子どものために育てていきたい。

○「地域とのつながり」や「地域力」などの言葉を聞いた時に、自分自身、もっと地域と深く繋がっていききたいと日頃から感じていた。地域の中のこども園なので、もっと地域に根差し子どものいない地域の方にも子ども達を見守っていただけるようにしていきたい。また、専門職としても地域の者としても、子ども達のためにできることを考えていきたい。

○地域資源の動画を見て「人は一人では生きていけない」「周りの人に助けを求めても良いんだ」と思った。年輩の方々が子どもや子育て世代へ関心をもち、何とかしていきたいと思ってもらえるのは有り難いことだと思った。親世代が近くにいて助けてもらったり、地域の人に助けてもらったりするのは決して恥ずかしいことではないし、甘えても良いと思った。自分が甘えたい時に応えてもらえると本当に心強いと感じた。